

学校外の人材を活用したキャリア教育実践モデル

学年 5 教科・領域 社会 単元・題材等 生活と工業

単元・題材等の目標 工業生産に従事している人々の工夫や努力、それを支える貿易や運輸について調べ、工業生産が国民生活や産業を支える重要な役割を果たしていることを考える。各種の写真・地図・統計及び工場働く人の声などの資料を活用して、日本の工業生産の現状や課題についてとらえ、自分なりの考えをもつ。

○活用できる学校外の人材と内容等

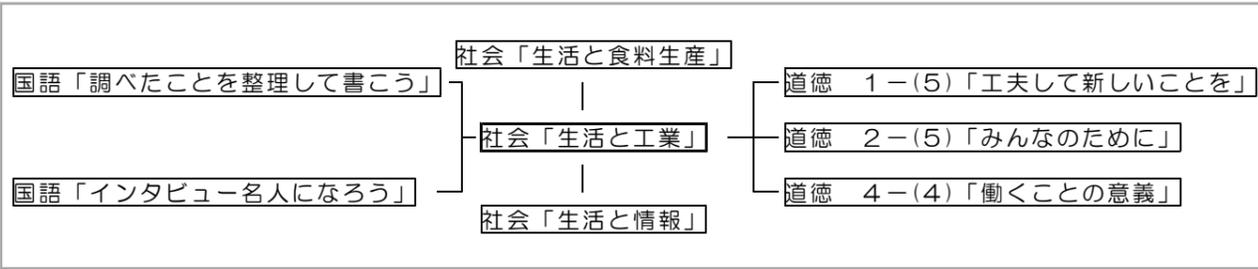
自動車工場などで働いている人
*見学に行き、生産の様子や仕事に従事している人の工夫や努力などについて話をしよう。

○キャリア教育の視点から本単元・題材等で育成することが期待される能力・態度

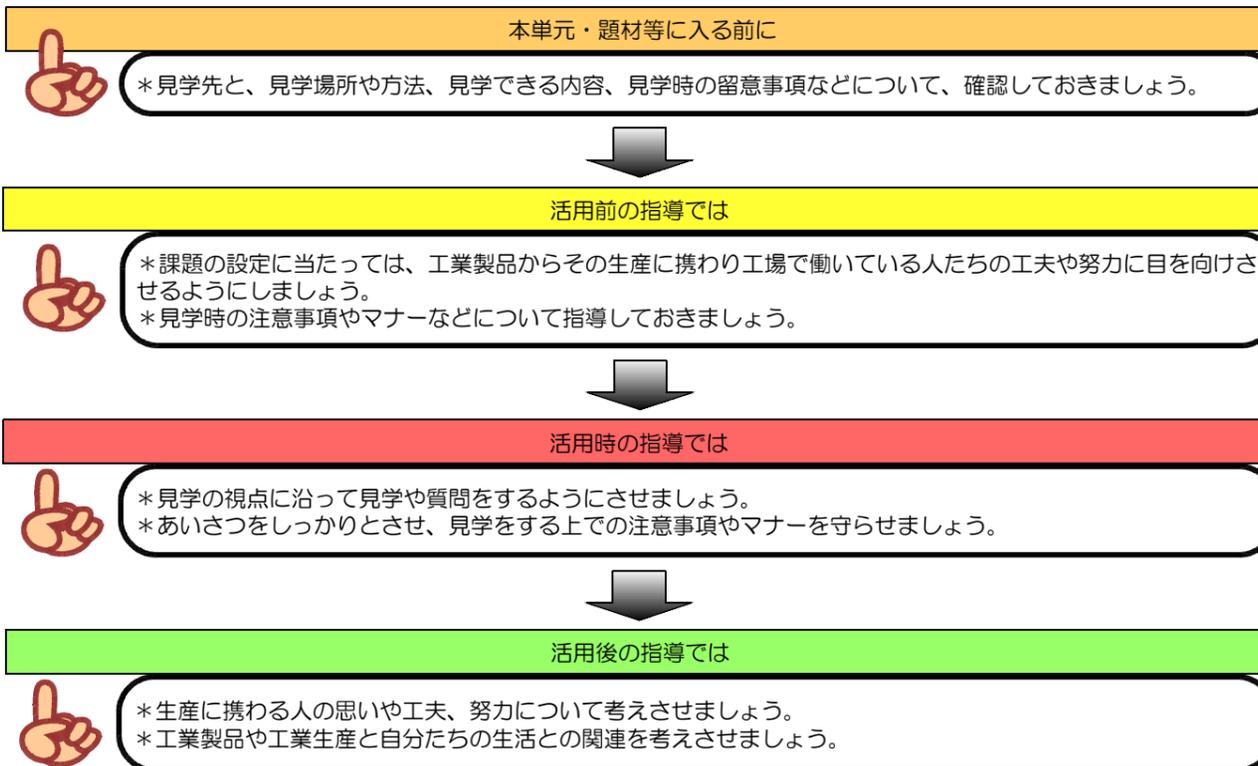
*太字は、学校外の人材活用により育成が期待できる能力・態度

- 自動車工業にかかわる仕事の様子やその変化が分かる。【**情報収集・探索能力**】
- 学習課題解決のために必要な情報を得る。【**情報収集・探索能力**】
- 見学を通し、働くことの大切さや苦労が分かる。【**職業理解能力**】
- 見学や学習したことと、生活や職業との関連を考える。【**職業理解能力**】
- 仕事上の役割分担やその大切さが分かり、役割同士の関連性に気付く。【**役割把握・認識能力**】

○キャリア教育の視点からの他教科・領域との関連



○学校外の人材を活用するポイント



○学校外の人材を活用する指導の流れ

活用前の指導
①学習課題を設定し学習計画を立てよう
◆工業製品やそのパンフレットを持ち寄り、調べてみたいことを話し合い、学習課題を設定する。

学習活動	指導上の配慮事項
<ul style="list-style-type: none"> 工業製品を見たり製品のパンフレットを持ち寄ったりして、調べてみたいことを話し合う。 学習課題を設定し、工場見学の計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 実際に販売店に出掛けたり、製品を見たり触れたりした体験などから興味をもたせる。 調べてみたいことを話し合い、まとめる中で、課題を設定し、有効に調べ活動が進むように見学の視点について考えさせるようにする。 質問の内容などもはっきりとさせておく。 具体的な見学のしかた、見学時の注意事項やマナーなどについて指導を行う。

評価の観点 ・調べてみたいことから、学習課題を設定し、見学の計画を立てることができる。

活用時の指導
②工場見学をしよう
◆工場へ見学に行き、生産過程を見たり、説明を受けたりしながら、課題解決を図る。

学習活動	指導上の配慮事項
<ul style="list-style-type: none"> 見学時の注意事項、見学の流れなどについて確認する。 学習課題と見学の視点に沿って説明を受けながら工場見学をする。 	<ul style="list-style-type: none"> はじめのあいさつをさせ、見学前の事前指導を行う。 見る所のポイントや話のポイントを随時指示していくようにする。 説明だけでは分からないこと、詳しく知りたいことは質問させる。

評価の観点 ・見学に行き、実際に見たり聞いたりしたことから課題解決を図ることができる。

活用後の指導
③課題を解決し単元のまとめをしよう
◆調べて分かったことをまとめ、自分たちの生活とのかかわりを考える。

学習活動	指導上の配慮事項
<ul style="list-style-type: none"> 工場見学に行き分かったことや気付いたことを発表し交流し合う。 調べたことと自分たちの生活との関連について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 工業生産の様子、それに従事している人たちの工夫や努力について、学習課題との関連から考察させる。 働いている人は、どんなことを考えながら仕事をしているのでしょうか。 工業生産が自分たちの生活とどうかかわりがあるか、どう役立っているか、課題は何か、などについて考えさせる。

評価の観点 ・生産に携わる人の思いや願いについて考えることができる。
・調べて分かったことと、自分たちの生活とのかかわりについて考えることができる。